

(様式5)

「体験交流型プログラム運営業務委託」公募型プロポーザル質問書による回答

令和4年5月2日

記載箇所	質問内容
質問内容① 仕様書 3 業務内容 (5)予約管理 WEB システムの開発及び運用	「造成されたプログラムの予約管理 WEB システムを開発し運用する。」とある。 Q1 現在の HP をそのまま使用してよいか？ Q2 「 <a href="https://okuaizu.info/">https://okuaizu.info/</a> 」のドメインはそのまま使用してよいか？
回答①	Q1 について 現在の HP を使用について可とするが、HP の運用に係る費用については委託料の中で受託者が負担すること。 Q2 について 既存ドメインをそのまま使用について可とするが、ドメイン使用に係る費用については委託料の中で受託者が負担すること。
質問内容② 仕様書 3 業務内容 (3)運営事務局組織	「地域内で賄えない業務を担当する地域外の人材を人員に加えて良い」とある。 Q1 令和3年度まで加わっていた地域外の人材の業務は(1)～(8)までのうちどれか？ Q2 令和4年度も継続して地域外の人材に委託者が協力予定している業務は(1)～(8)までのうちどれか？ Q3 令和3年度まで加わっていた地域外の人材へ直接連絡することは可能か？ Q4 Q3 が可能であれば、業務内容と金額を協議することは可能か？
回答②	Q1 について 令和3年度に地域外の人材が行なった業務は、(1)～(8)のうち(4)～(6)のプログラムの提供のためのワークショップや WEB システム、パンフレット作成が主な業務となっている。 Q2 について 地域外人材の業務については、(1)～(8)のうち委託者側で特定はしていない。運営主体は地域内の人材とするが、地域内の人材で対応が困難な業務については地域外の人材を加えても良いこととする。 Q3 について 令和3年度まで加わっていた地域外の人材に関わらず、業務実施に必要な人材について、個別に連絡することは可能。 Q4 について 具体的な業務内容や金額の協議についても、事業提案にあたり必要であるため可能。